

# 水稻作況試験情報 【令和4年産 普通期栽培】

香川県農業試験場（7月10日現在）

移植期以降、最高気温、最低気温は平年より高く推移した。降水量は平年より少なく、日照時間は6月2～4半旬は少なかった。田植20日後の生育については、過去5か年の平均値より草丈はコシヒカリ、おいでまいで短く、ヒノヒカリは平年並みだった。茎数、主稈葉数は3品種とも多かった。

## 1. 作況試験の方法

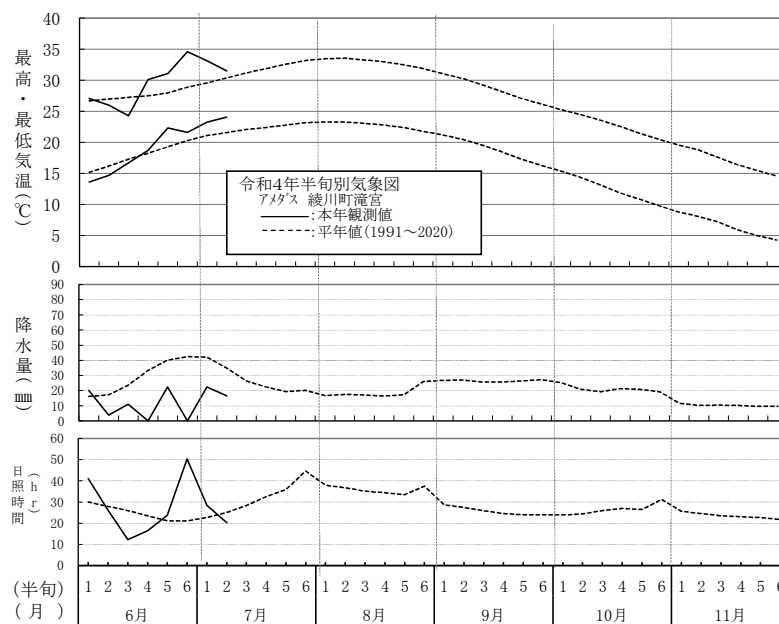
- 1) 供試品種：コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまい
- 2) 播種期：5月31日 移植期：6月20日
- 3) 育苗方法：播種後、加温出芽させ、その後露地育苗した。
- 4) 栽植密度及び移植方法  
18.5株/m<sup>2</sup>（30cm×18cm）、1株4本程度、機械移植  
なお、生育調査株は移植直後1株4本に調整した。
- 5) 本田施肥（N成分kg/a）

	基肥	穂肥Ⅰ（予定）	穂肥Ⅱ（予定）
コシヒカリ	0.3	0.15	0.10
ヒノヒカリ	0.5	0.25	0.15
おいでまい	0.5	0.25	0.15

- 6) 使用肥料：化成肥料（N：P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>：K<sub>2</sub>O＝14：10：12％）
- 7) 1区面積及び区制 1区250m<sup>2</sup>（コシヒカリ500m<sup>2</sup>）、2反復

## 2. 具体的データ

令和4年産水稻 気象表（7月2半旬まで）



令和4年産 水稻作況試験生育調査結果(7月10日現在)

調査 (月/日)	供試品種 項目	コシヒカリ			ヒノヒカリ			おいでまい		
		本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)
移植時 (6/20)	草丈(cm)	14.5	14.9	▲ 0.4	11.5	11.9	▲ 0.4	11.0	11.4	▲ 0.4
	主稈葉数(枚)	2.4	2.4	0	2.5	2.5	0	2.4	2.6	▲ 0.2
田植20日後 (7/10)	草丈(cm)	38.9	39.6	▲ 0.7	32.1	32.0	0.1	30.0	33.8	▲ 3.8
	茎数(本/m <sup>2</sup> )	295	213	38 %	330	243	36 %	388	274	42 %
	主稈葉数(枚)	7.7	7.3	0.4	8.1	7.6	0.5	8.5	7.7	0.8
田植30日後 (7/20)	草丈(cm)		56.4			47.9			46.7	
	茎数(本/m <sup>2</sup> )		480	%		529	%		633	%
	主稈葉数(枚)		9.7			9.9			10.1	
田植40日後 (7/30)	草丈(cm)		75.7			68.8			67.0	
	茎数(本/m <sup>2</sup> )		518	%		592	%		717	%
	主稈葉数(枚)		11.2			11.4			12.0	
播種期(月/日)		5/31	5/30	1	5/31	5/30	1	5/31	5/30	1
移植期(月/日)		6/20	6/20	0	6/20	6/20	0	6/20	6/20	0
幼穂形成始期(月/日)			7/27			8/5			8/7	
出穂期(月/日)			8/15			8/27			8/27	
主稈止葉葉位(枚)			13.0			14.3			15.2	
穂数(本/m <sup>2</sup> )			395	%		408	%		442	%
稈長(cm)			88.5			82.3			80.9	
穂長(cm)			18.2			18.1			19.1	
成熟期(月/日)			9/19			10/6			10/6	

注1)コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまいの差は過去5か年平均との比較で示した。

注2)茎数・穂数については対比(増減%)で表し、これ以外の項目については対差(実数値)で表した。なお▲は少ない、短い、早いことを示す。